

HUS Grand Design 2040

HUSグランドデザイン2040

本法人は創立100周年を迎える2024年以降も、これからのより良き社会の創造と持続的発展に貢献することが必須と考えています。そこで、高等教育機関の3本柱である「教育」「研究」「社会・地域貢献」を持続可能な開発目標(SDGs)と連動しながら、社会環境の変化を踏まえた、新たな将来像・運営方針として「HUSグランドデザイン2040」を策定。地域を活性化する教育機関としての役割を果たすべく、人々の暮らしを支え、永続的な社会の維持・発展に寄与します。

3つの柱を支える経営基盤

財務

- 長期的視野による財務戦略の確立
- 管理会計による支出内容の質向上
- 学生生徒納付金以外の収入源の多様化による財務基盤の安定化

キャンパス

- 多様な人との交流を生み出すキャンパス
- 教育環境の持続可能な発展と整備

コミュニケーション

- ステークホルダーの理解・共感を得る情報発信(=USR)
- 本学の強み・特色の理解につながる広報戦略
- 広報マインドの醸成
- 同窓生との緊密な連携による学びのサポート

すべてを支える組織・人事

組織

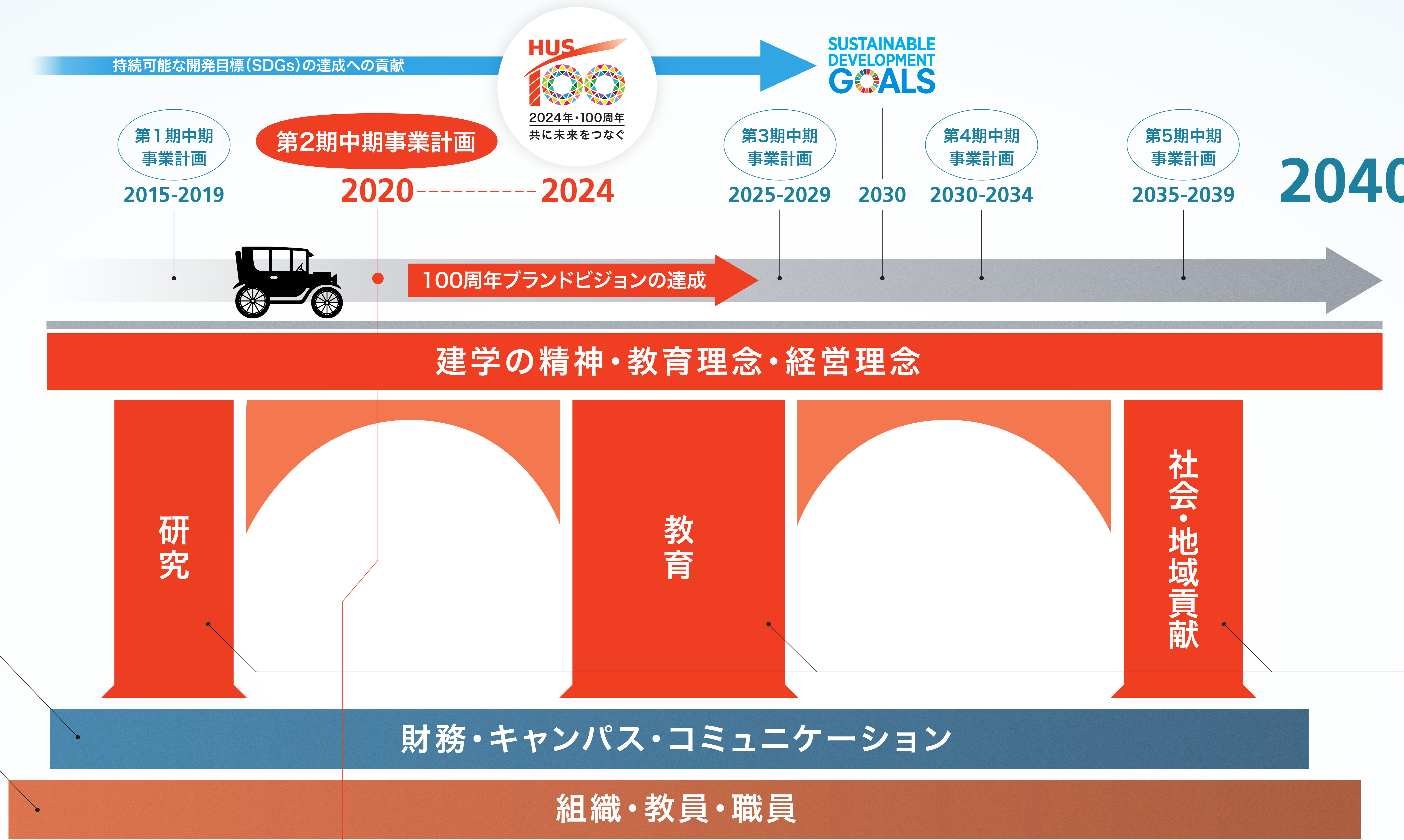
- 時代の変化に応じて自ら変革できる組織(人材育成・キャリア支援)

教員

- 個の資質向上と組織的教育・研究体制の強化

職員

- 自ら+Professional職員を体現、エンployアビリティの向上、主体的なキャリア形成



高等教育機関の3本柱

研究

大学の4学部を中心とした専門分野を更に深化させるとともに、統合されたキャンパスの優位性を最大限に発揮し、イノベーション創出のための学部・学科の垣根を越えた研究を推進。得られた研究成果を社会のニーズや社会の問題解決のために展開し、成果を生み出すことで、Society5.0の実現に貢献する。

教育

北海道の発展に貢献してきた高等学校・大学を設置する法人としての特色を生かした教育を展開。高等学校では、科学(基盤能力の核となる能力・スキル)、情報(プログラミング、ITスキル)、語学(日本語及び英語の読解力、留学などの体験を通じたコミュニケーション力)を文理で区別することなく身につけさせるとともに、大学では多様で柔軟な実学系教育プログラムにより、高度な教養と専門性を併せ持ち、各専門分野において先導的な役割を担い、北海道を中心とした地域社会の持続可能な発展・成長に貢献する「+Professional」な人材を養成する。

社会・地域貢献

各設置校の教育指針及び教育の特色などに基づいた人材養成により、地域活性化の担い手を社会に輩出することはもとより、大学をはじめとする各設置校が、地域に根付いた教育・研究活動などを通じ、様々な場面で地域とのパートナーシップを構築・強化する。

第2期中期事業計画

100周年に向けた重点改革事項 ▶ 高大一体型教育の実現に向けた、高校の前田キャンパス移転 ▶ Society5.0に対応した、データサイエンス教育の展開 ▶ 100周年記念会館による能動的学習の推進

戦略事業

I 教育の質向上

基本理念「科学的市民の育成」、「プロフェッショナル教育の推進」を引き続き堅持し、学修者本位の教育への転換をより一層推進する。高等学校にあつては、新学習指導要領に準拠した教育の展開により、アドミッションやその後の高等教育に生かせる資質能力の育成を目標とする。

- データサイエンス教育
- 教学マネジメントの確立(入学から卒業までの一貫した支援、基礎学力向上プログラムの実施)
- 臨床現場のニーズに対応した教育
- 先進モビリティに関する科目群
- 多様なグローバル体験と世界に向き合う人材の育成(高校)
- HUSコンカレントプログラム(大学レベルの学びを高校在学中に体験)

II 研究活動活性化

本学の特色を生かした、医・薬・工連携による学際的・学融合的研究の推進によるイノベーションの創出、社会還元を図る。

- 新研究所(CRILS)の設置による医・薬・工連携の推進(大学統合によるシナジー効果)
- 補助金連動型アライアンス強化
- 科研費獲得強化

III 社会貢献

地域社会の核として、産業界や地方公共団体と共に、北海道の高等教育の将来像や具体的な連携・交流方策について議論する「地域連携プラットフォーム」の構築を目指す。

- 地域医療への貢献を目指した道内地方都市における実務実習の推進
- 看護実践・教育・研究に関するユニフィケーション事業の実施
- 「自由研究」といえば北科大!小・中学生対象に科学や学問への興味を喚起させる体験イベントの実施

IV 経営強化

キャンパス再整備計画(第1期)の成果としての前田キャンパス移転、大学統合によるスケールメリット(共通教育研究組織、事務部門の簡素・合理化など)を発揮し、運営コストを削減するとともに、限られた経営資源をI、II、IIIの重点領域に再配分及び集中的に投資する。

- キャンパス再整備計画(第2期)
- 寄付金募集事業
- 100%出資会社の設立
- 高校の前田キャンパス移転の戦略的広報(系列大学の魅力発信など)
- 教職員の健康維持・増進プロジェクト
- ICT環境整備(高校)

V ブランド推進

信条として掲げた「+Professional」「地域共育力」の旗印の下、100周年記念事業、ブランド推進活動、特色ある教育研究活動並びに地域貢献活動などの個別の取り組みを一貫したストーリーとして、分かりやすく社会に発信し、認知度の向上を図る。

- 同窓生との連携強化
- 100周年記念事業の実施
- ホームページの全面リニューアル
- インフラ映えフォトコンテスト開催

経常的教育活動

- 設置校及び部局など(学部・センター・事務局)における、「経営理念・ビジョンに基づいた目標」の達成につながる事業
- 一人ひとりの教職員が日々の業務において上記を意識し取り組むアクション